

Reiko

近代洋画、
メガ盛り

and 100 Years of Japanese Modern Art
Museum of Modern Art, Kamakura and Hayama × Hyogo Prefectural Museum of Art

麗子登場！ - 名画 100年・美の競演
神奈川県立近代美術館 × 兵庫県立美術館



関連記事掲載・番組でのご紹介のお願い

拝啓

春暖の候、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。平素は兵庫県立美術館の活動にご理解ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて当館では2010年6月15日(火)から7月19日(月・祝)まで「麗子登場！ - 名画 100年・美の競演 神奈川県立近代美術館 × 兵庫県立美術館」を開催いたします。

この展覧会は、日本初と二番目にオープンした公立近代美術館、神奈川県立近代美術館と兵庫県立美術館のコレクションを有機的に関連させながら日本近代美術史100年を回顧するものです。

つきましては、貴媒体にて本展をご紹介いただきますようお願い申し上げます。広報用写真や読者・視聴者プレゼント用招待券もご用意しております。ご希望の場合は、別紙の FAX 用紙にてご請求ください。その他、ご不明な点や資料等のご請求がございましたらお問い合わせください。

敬具

兵庫県立美術館 営業・広報グループ

会 期： 2010(平成 22)年 6 月 15 日(火)～7 月 19 日(月・祝)
月曜日休館 (7 月 19 日(月・祝)は開館) (31 日間)

開館時間： 10:00～18:00(金・土曜日は夜間開館 20:00まで) 入場は閉館の30分前まで

会 場： 兵庫県立美術館 企画展示室

主 催： 兵庫県立美術館、朝日新聞社

後 援：伊藤文化財団、兵庫県、兵庫県教育委員会、神戸市、神戸市教育委員会
協 力：ホテルオークラ神戸
特別協力：神奈川県立近代美術館
入 場 料：一般 1200(1000)円、大学生 900(700)円、高校生・65 歳以上 600(500)円、
中学生以下無料

()内は、前売り料金及び 20 名以上の団体割引料金(ただし、高校生・65 歳以上の前売りはありません。)

障害のある方とその介護の方(1 名)は各当日料金の半額(65 歳以上は除く。)(割引を受けられる方は、会期中美術館窓口で入場券をお買い求めください。)

割引を受けられる方は、証明できるものをお持ちください。

コレクション展の観覧には別途観覧料金が必要(本展とあわせて観覧される場合は割引あり。)

【開催趣旨】

戦後まもない 1951(昭和 26)年、ひとつの美術館が鎌倉に誕生しました。この日本初の公立近代美術館・神奈川県立近代美術館は、日本の美術館を先導する存在となり、親しみと敬意をこめて「かまきん」の愛称で呼ばれました。高橋由一をはじめとするそれまで研究の進んでいなかった作家を世に出し、評価の高い展覧会を数多く開催して日本近代美術史をつくりあげてきました。

一方、兵庫県立美術館は 1970(昭和 45)年に日本で二番目の公立近代美術館「兵庫県立近代美術館」として開館し、関西らしい活動を展開して独自の個性を育ててきました。

現在、神奈川県立近代美術館は鎌倉・葉山に計 3 館をもつ美術館となり、兵庫県立近代美術館は 2002 年に兵庫県立美術館へと引き継がれています。積み重ねてきた時間は、コレクションとなり、展覧会となって結実してきました。

このたび初めての試みとして、これら 2 館のコレクションを有機的に関連させながら日本近代美術史を回顧する展覧会を開催します。神奈川県立近代美術館から高橋由一、岸田劉生、松本峻介、レオナルド・フジタ(藤田嗣治)、片岡球子などの作品 55 点が一挙来神し、本多錦吉郎、岡田三郎助、小磯良平、東山魁夷など兵庫県立美術館の代表作品 51 点と競演します。岸田劉生(童女図(麗子立像))(神奈川県立近代美術館)、小磯良平《斉唱》(兵庫県立美術館)をはじめとする名作が、31 日間限定の「近代美術館」にてお待ちしております。

【このプレスリリースについてのお問い合わせ】

兵庫県立美術館

〒651-0073 兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1

ホームページ <http://www.artm.pref.hyogo.jp>

(展覧会の内容に関すること)

電話 078-262-0909 ファックス 078-262-0913

担当学芸員 吉田朋子

(情報提供・広報に関すること)

電話 078-262-0901(代) / 078-262-0905(直) ファックス 078-262-0903

営業・広報グループ

プレス用画像について

このプレスリリースに掲載されている画像データのうち、キャプションにピンク色の網がけのあるものを媒体掲載用にご用意しております。別紙の申込書をご使用ください。

【展覧会構成】 全 106 点出品

赤字の作品は神奈川県立近代美術館、青文字の作品は兵庫県立美術館の所蔵です。

(1) 洋画の黎明期から 15 点

江戸時代から萌芽した洋画への憧れが花開く様を紹介します。洋画の開拓者・高橋由一の風景画、明治時代の歴史画(歴史や神話を題材とした絵画)《羽衣天女》など貴重な作品を御覧いただきます。

・高橋由一、本多錦吉郎、五姓田義松、川村清雄など



高橋由一(江の島図) 1876 77 年
神奈川県立近代美術館



本多錦吉郎(羽衣天女) 1890 年
兵庫県立美術館

(2) 大正時代のさまざまな美術から 26 点

大正時代には、日本ならではの洋画が生まれ、さまざまな個性があふれました。中でも岸田劉生は愛娘・麗子の姿を通して深い美の世界を追求しました。神奈川県立近代美術館の名作《童女図(麗子立像)》が兵庫県立美術館所蔵の若き日の父の自画像と対面します。

・岸田劉生、小出檜重、関根正二、村山槐多など



岸田劉生(童女図(麗子立像)) 1923 年
神奈川県立近代美術館



岸田劉生(樹と道 自画像其四) 1913 年
兵庫県立美術館

(3) 昭和戦前の絵画 17点

フォーヴィスム、シュールレアリスムといったヨーロッパの動向に感応し、燃焼した画家たちの作品を紹介します。福沢一郎の有名な《よき料理人》、夭折の画家・浅原清隆《海を見た》など現在も新鮮な作品が登場します。

- ・児島善三郎、小磯良平、佐伯祐三、前田寛治、福沢一郎、村井正誠、吉原治良、浅原清隆など



福沢一郎《よき料理人》1930年
神奈川県立近代美術館

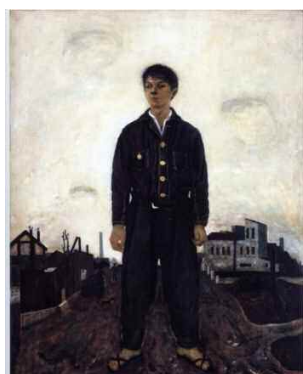


浅原清隆《海を見た》1937年
兵庫県立美術館

(4) 戦争期の絵画 8点

厳しい時代に画家たちの残した表現は私たちに強く訴えかけます。松本竣介の名作《立てる像》と小磯良平《斉唱》の対面は見逃せません。

- ・松本竣介、小磯良平、佐藤哲三、和田三造など



松本竣介《立てる像》1942年
神奈川県立近代美術館



小磯良平《斉唱》1941年
兵庫県立美術館

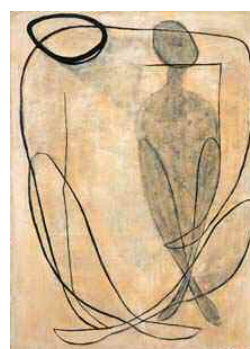
(5) 戦後の絵画から 18点

具象的傾向の熟成と新しい時代の絵画の芽生えをたどります。1951年開館の神奈川県立近代美術館と時代を共有した画家たちの代表作品、関西らしい兵庫県立美術館の所蔵作品が戦後の美術を紡ぎます。

- ・山口薫、津高和一、麻生三郎、吉原治良など



山口薫《千手(黒夫人)像》1957年
神奈川県立近代美術館



津高和一《母子像》1951年
兵庫県立美術館

(6) 日本画の名品から 14 点

両館の日本画の名品を紹介します。

- ・ 片岡球子、東山魁夷、山口蓬春、加山又造など



片岡球子(面構 豊太閤と黒田如水) 1970 年

神奈川県立近代美術館



東山魁夷(谿紅葉) 1968 年

兵庫県立美術館

(7) 彫刻の名品から 8 点

大正時代の名作、戦後の魅力的な作品を紹介します。

- ・ 中原悌二郎、高村光太郎、藤川勇造、戸張孤雁など



中原悌二郎(若きカフカス人) (1919 年)

神奈川県立近代美術館



中原悌二郎(憩える女) (1919 年)

兵庫県立美術館

【関連事業】(予定)

(1) 記念講演会「この 100 年で絵はどう変わったか。」

講師 = 山梨俊夫(神奈川県立近代美術館館長)

7 月 4 日(日) 14:00 ~ (約 90 分)

(2) こどものイベント「近代洋画に挑戦」

7 月 11 日(日) 10:30 ~ 15:30

アトリエ 2 要申込・参加費 詳しくは 078-262-0908

(3) 学芸員による解説会「麗子像の秘密」

6 月 19 日(土)・6 月 26 日(土)・7 月 17 日(土) 16:00 ~ (約 45 分)

無料・いずれもレクチャールームにて(定員 100 名)

(4) ミュージアム・ボランティアによる解説会

会期中の毎週日曜日 11:00 ~ (約 15 分)

無料・いずれもレクチャールームにて(定員 100 名)

麗子登場！ - 名画 100 年・美の競演 神奈川県立近代美術館 × 兵庫県立美術館

広報用写真や読者・視聴者プレゼント用招待券(最大 10 組 20 名まで)もご用意しております。ご希望の場合は、ご請求ください。

営業・広報グループ 行

F A X (0 7 8) 2 6 2 - 0 9 0 3

希望写真(作品名)	
貴社名	
媒体名	新聞・雑誌・ミニコミ TV・ラジオ・インターネット
ご担当者名	
ご住所	〒
電話番号	()
F A X 番号	()
メールアドレス	@
URL	
掲載・放送予定日	
写真到着日希望	
読者・視聴者プレゼント用招待券(最大 10 組 20 名まで 本展を媒体でご紹介いただける場合に限ります)	組 名分希望

写真データ使用は、本展覧会の紹介用のみとさせていただきます。それ以外での使用はできませんので、ご了承ください。

本展に関する記事をご掲載いただきました際には、お手数ですが、掲載誌・紙または記録媒体(VTR/DVD)などを、下記宛にお送りくださいますようお願い申し上げます。

本展覧会会場の取材、撮影をご希望の場合は、下記までご連絡ください。事前にご連絡のない取材、撮影はお断りいたします。